

地域福祉の充実をめざして、  
支える心のネットワーク！



Fukushi  
CHIBA



# 福祉 ちば

No.205

2025.8 August

Fukushi  
**特集**  
CHIBA

東京2025  
デフリンピックが  
今秋11月に開催！



## 千葉県ゆかりの デフアスリートたちの競技にかける思い

フィールドスタディ  
Field Study  
地域の福祉活動

「地域福祉フォーラム」を活用して認知症理解を深めるために  
「VRによる認知症体験会」を開催

こども食堂、社協、社会福祉法人が連携して  
寄付食材の受け入れから配布までを担う仕組み

あったかパントリー（佐倉市）

県社協ニュース

- 新執行体制がスタート
- 学費等にお困りの場合は  
ご相談ください！

**東京2025デフリンピックが  
今秋11月に開催!**

# 千葉県ゆかりの デフアスリートたちの競技にかける思い

聴覚障害者が出場する国際スポーツ大会、デフリンピックが11月15日から東京で開催されます。今回は千葉県ゆかりのデフアスリートのお二人に、ご自身の障害のことやデフリンピックへの思いを語っていただきました。

東京2025デフリンピック

陸上(男子)800m

日本代表内定選手

おさ ない さとし  
**長内 智**選手 東京パワーテクノロジー所属 35歳  
佐倉市出身

**Q** 長内さんの聞こえ方や、普段のコミュニケーション方法について教えてください。

生まれつきの感音性難聴ですが、補聴器を装着すればコミュニケーションをとることは可能です。小学校から大学まで健聴者の学校に通いましたが、授業で聞き取れないときは、友人に助けられました。普段の会話は基本的に口話ですが、デフ陸上の仲間同士のコミュニケーションは手話も使います。

**Q** 陸上競技を始めたきっかけを聞かせてください。

佐倉市内の中学に入学後、バスケットボール部に入部しましたが、補聴器は周囲のいろいろな音を拾ってしまい、肝心の合図や指示を聞き取ることができず悩みました。

そこで、個人競技の陸上部に転向したところ、数か月後に初めて出場した千葉県中学総体の800mで優勝することができました。その後、全国大会にも出場しました。そこから走ることの楽しさに目覚めて、高校、大学と陸上部で活動しました。

**Q** デフ陸上で活躍されるようになったのは、いつからですか？

社会人になってからです。大学卒業後は競技を離れて銀行の窓口業務に就きました。しかし、ショッピングモールの中だったこともあって雑音が多く、お客様とのコミュニケーションが難しい環境でした。クレームもいただきましたが、接客方法に対してではなく、聞こえないことに対するクレームが多く、ショックを受けました。そこで、聴覚障害がある人たちはどのようにコミュニケーションをとっているのか、また、自分自身の障害について知りた



いと思い、大学時代に知り合ったデフ関係者の方に連絡をとりました。その方にデフ陸上の合宿に誘っていただいたことがデフの世界に入るきっかけです。



選手としての活動はもちろんですが、小・中学校等に出向いての啓発活動にも力を入れています。私自身のこれまでの経験や聴覚障害について講演することもあれば、デフ陸上の競技の紹介をすることもあります。

**Q** デフ陸上は、一般の陸上競技とどこが違うのですか？

選手は必ず補聴器を外して競技に参加します。またスタートは音ではなくスタートランプという装置を使って光で知らせます。また、リレーのバトンパスは一般的に歩数を決めて声で合図しますが、デフ陸上は歩数だけでパスしなければなりません。「心のバトン」と言われているので、リレー観戦のときは注目してください。

**Q** 東京2025デフリンピックの代表に内定されましたが、これまでにどんなご苦労がありましたか。

私が初めてデフリンピックに出場したのは、2017年の大会ですが、怪我で実力を発揮できないままに終わってしまい、悔しい思いをしました。次の大会も練習中の大怪我のために出場できず、引退も考えました。しかし多くの人に支えられながら現役を続けてきました。

内定はうれしいというより、ほっとした気持ちです。出場することがゴールではなく、金メダルを取ることがゴールなので、もっと上を目指していきたいと思っています。

**Q** では最後に読者のみなさんにメッセージをお願いします。

私がロールモデルとなって活動することで、障害は個性だということをみなさんに知ってほしいです。東京デフリンピックで金メダルを獲得できるように頑張るので、応援をお願いします。



第5回世界デフ陸上競技選手権大会(2024年、台湾)リレーメンバー

東京2025デフリンピック

バスケットボール(女子)

日本代表リザーブ選手

えの もと まな み  
**榎本 愛美**選手 筑波大学附属聴覚特別支援学校 中学3年  
市川市出身

とができず、困ることもありましたが、自分から積極的に聞きに行き、わかるまで説明してもらっています。

**Q** デフバスケとの出会いや、健聴者のバスケとの違いについて教えてください。

中学1年のとき、ブルーベブルズのコーチから紹介されて「やってみよう」と思い、デフバスケの日本代表候補の合宿に参加しました。デフバスケは補聴器を付けることや声を出すことが禁止されていて、主に手話でコミュニケーションをとります。

最初は知らない手話が多かったけれど、デフバスケをきっかけに手話を一生懸命に勉強して、いまではスラスラできるようになりました。

**Q** プレー中、手話以外ではどのようにコミュニケーションをとるのですか。

前方の選手を呼ぶときは肩にタッチしたり、足で床を踏み鳴らして振動で伝えたりします。ジェスチャーを使うこともあります。フォーメーションのサインがたくさんあるので、面白いです。

**Q** デフリンピックの強化指定選手に選ばれましたが、どのような気持ちでしたか。

強化指定選手に選ばれた時はすごく嬉しかったです。学校の友人、チームメイト、コーチに報告すると、「おめでとう」と言ってくれたり、みんなが褒めてくれました。その後、代表選手ではなくリザーブ選手に決まったときは、とても悔しかったです。今後の目標は4年後のデフリンピックで日本代表に選ばれることです。

そのためにはコミュニケーションをもっと増やしながら、ブルーベブルズのチームメイトやデフバスケ日本代表の選手と一緒に一生懸命練習を頑張っていきたいです。

**Q** では最後に読者のみなさんにメッセージをお願いします。

聴覚障害があっても楽しくスポーツできることを、たくさんの子もたちに知ってほしいです。そして大勢の人にデフバスケ日本代表を応援していただきたいです。

**Q** 榎本さんの聞こえ方や、普段のコミュニケーション方法について教えてください。

生まれつきの感音性難聴で、周囲の音はほとんど聞こえず、補聴器をつけると周囲の音は聞こえるようになりますが、会話の内容ははっきりとはわかりません。

私は特別支援学校に通う中学3年生ですが、クラスメイトとの会話は主に手話を使っていて、家族とのコミュニケーションは口話です。

**Q** バスケットボールを始めたきっかけを聞かせてください。

兄がバスケットボールを始めたことで興味を持ち、小学3年生のときに小学生のチームに入りました。現在は千葉県の女子中学バスケットボールチーム「ブルーベブルズ」のメンバーです。

私のポジションはポイントガードで、ボールを運んだり、ボールを持っている人に対してディフェンスをする役割があります。練習中やプレー中にコーチやチームメイトの言葉を聞き取るこ



東京2025デフリンピック 日本代表合宿参加メンバー

## 第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025 (略称:東京2025デフリンピック) 大会期間 11.15▶26 12日間

デフ(Deaf)とは「耳が聞こえない」という意味で、デフリンピックは「聞こえない・聞こえにくい人のためのオリンピック」です。国際ろう者スポーツ委員会(ICSD)が主催し、4年ごとに開催される国際スポーツ大会で、第1回は1924年にパリで開催されました。

今回、日本で初めて開催される「東京2025デフリンピック」は100周年の記念すべき大会となります。70~80か国から、約3,000人の選手を含む約6,000人の選手団が来日し、陸上、水泳、バスケットボール、サッカーなど21競技で熱い戦いを繰り広げます。

現在、**東京2025PRカー**が国内を巡回中!

オリンピックの聖火リレーのように、今回のデフリンピックでは北と南から2台のラッピングカーが大会開催都市の東京都を目指し、日本全国を駆け抜けます。

千葉県内は、10月19日~26日に巡回予定です。巡回時には様々な企画も予定されています。

詳しくは、社会福祉法人千葉県聴覚障害者協会のHP等に掲載される情報をチェック!





## 「地域福祉フォーラム」を活用して 認知症理解を深めるために 「VRによる認知症体験会」を開催

船橋市の本中山地区社会福祉協議会(以下、本中山地区社協)は、誰でもいつまでも、安心、安全に暮らせるまちづくりのために活動しています。その一環として「地域福祉フォーラム」を活用して、「VR(バーチャルリアリティ)による認知症体験会」を開催する他、多彩な事業を展開しています。

### VRの技術を活用して 認知症の中核症状を体験

船橋市には市内24地区に地区社会福祉協議会が設置されていますが、本中山地区は市の最西端に位置し、人口は約2万人。活気のあるエリアで高齢化率は20.7%と、市の平均(23.8%)より低く推移しています(令和7年4月1日現在)。

本中山地区社協の人員体制は会長と副会長(2名)、事務局長、会計(2名)に加えて、生活支援コーディネーター、地域コーディネーター(4名)が

配置され、登録ボランティアは100名余り。充実した体制のもとで多くの事業を手掛けており、令和6年度からの3年間は、地域福祉フォーラム事業に取り組んでいます。この事業は千葉県独自のもので、様々な団体や個人が協働して地域福祉課題の解決を目指して取り組む、地域福祉を推進するための施策です。

この事業に申請したきっかけは、船橋市社会福祉協議会(以下、市社協)が開催した「VRによる認知症体験会」に、高久千也子会長を含む3名の役員が参加したことでした。本中山地区社協はかねてから地域包括支援センター

が実施する「認知症サポーター養成講座」の開催協力を行うなど、認知症の普及啓発に力を入れていきましたが、VRの技術を活用して認知症の中核症状を体験できるこの講座は、さらに理解を深めるものでした。

### ボランティアや民生委員からも 「とても参考になった」の声

たとえば認知症の方のなかには車から降りるとき、地面がはるか下に見えて足がすくむような感覚を覚えることがあります。その様子を本人視点でありありと体験できます。

「認知症の方の感じ方、見え方を知ることによって、本人がなぜ不安な気持ちになるのか理解できるようになり、適切な言葉かけができるようになると考え、地域のみなさんに向けてこの体験会を開催したいと思いました」と高久会長は振り返ります。



VR体験



本中山地区社協のみなさん。左から鈴木みゆきさん、高久千也子会長、小川智子さん、村尾節生さん

さっそく地区社協のスタッフ間で話し合いましたが、VR機材等の使用料金など開催費用が高額になることが課題でした。そこで市社協に相談したところ、助成金の交付を受けることができる地域福祉フォーラムの制度を紹介され、申請することになったという経緯があります。

第1回目の体験会は令和6年11月に本中山地区社協のボランティアを中心に30名が参加。翌年5月に開催した第2回目は、民生・児童委員の方を中心に同じく30名が参加しました。1時間半のプログラムで、体験前と後で認知症のイメージがどう変わったかをワークシートに書き込んだり、感じ取ったことについて参加者同士で意見交換したりしました。

「親の介護をしているが、とても参考になった」「街中で、困っている当事者の方を見かけたときの対応にも役立つ」といった好意的な感想が多く寄せられました。第3回目は来年実施する予定です。



地域福祉まつり



地域福祉まつり

### 住民の孤立を防ぐための ミニデイやサロンが充実

本中山地区社協はこのほかにも多彩な事業を展開しています。まず「地域福祉まつり」では年1回、多世代のふれあいを目的に、ゲームや工作、様々な演奏の発表など盛りだくさんのイベントが開かれます。ボランティアとして参加した中学生がその後、地区社協の登録ボランティアとなったケースもあったそうです。

高齢者向けの事業はバリエーション豊かです。例えば「ミニデイサービス」は、ひとり暮らし及び日中ひとりになる方が対象。こども食堂を運営している団体がつくるランチが好評です。出張ミニデイも実施しています。

一方「いきいきサロン」は高齢者はもちろんのこと、どなたでも参加できます。「コロナ禍で参加者数が減少しましたが、最近では増加して毎回40人も来てくれています。みなさんコミュニケーションをとることを楽しみにされて



ミニデイサービス



いきいきサロン



たんぼぼサロン

いるようです」と地区社協の地域コーディネーター、鈴木みゆきさん。

「たんぼぼサロン」は在宅支援センターの協力で健康相談、介護相談を行っています。地域コーディネーターの小川智子さんは「相談と併せて行っている懐メロのカラオケが大人気で、毎回とても盛り上がりです」と話します。

こうした様々な事業が、地域住民のつながりづくりを後押ししていることが伺えます。

### 多彩な事業を展開できる秘訣は チームワークの良さ!

本中山地区社協が実施する事業は、集合型のもばかりではありません。例えば生活支援コーディネーターの村尾節生さんが進めているのが「本中山たすけあいの会」です。話し相手やゴミ出しなど生活上の困りごとを、ボランティアが無償でお手伝いする取り組みで、村尾さんによると「たくさんPRして利用者を増やしていきたいし、要望があれば草とりなど今までやっていなかったことにも対応していきたい」とのことでした。

これだけの多彩な事業を継続的に展開できる秘訣について、高久会長に伺いました。

「本中山地区社協の自慢は一致団結していることです。チームワークの良さはどの地区にも負けません。これからもチーム全員でも地域福祉を推進していきます」

船橋市社会福祉協議会 TEL 047-431-2653

### 住まい探しでお困りの方をサポート

船橋市社協では、『住みえるサポート船橋』という相談窓口を設置して、高齢者や障がい者、子育て家庭、低額所得者、外国人、LGBTQなどの「住宅確保要配慮者」が民間賃貸住宅を探す際の相談を受け、スムーズに転居できるようにお手伝いしています。

10年ほど前、船橋市は居住に関する問題の解決を協議する会の設立を目指しており、宅地建物取引業者や学識経験者、社協や民生児童委員協議会などの居住支援団体などで構成する「船橋市居住支援協議会」を平成29年に設立しました。この協議会の業務として同年7月に『住みえるサポート船橋』が開設されました。

相談窓口では「年齢を理由に契約を断られた」といった、さまざまな困難を抱える方と面談し、協力不動産店と連携して賃貸物件を紹介します。物件の内覧や契約時に、ひとりでは不安だという方には職員が同行するサービスも実施しています。

相談窓口開設から今年3月までの相談件数は4,862件。相談人数(その後の具体的な相談につながったケース)は1,015人。住まいの問題だけでなく、複合的な課題を抱える相談者が増加しているなか、一つ一つの困りごとをていねいに聴き取り、関係する機関や団体につなげるといった対応も大切にしています。



船橋市社協(日常生活支援課)のみなさん

新執行体制がスタート

千葉県社会福祉協議会では、6月の任期満了に伴い、理事・監事・評議員の改選を行いました。理事10名、監事1名、評議員19名が新任となり新たな執行体制がスタートしました。

このたび、鬼島義昭副会長(茂原市社会福祉協議会長)の退任に伴い、石毛勝副会長(八街市社会福祉協議会長)が新たに就任いたしました。会長および他の副会長、常務理事につきましては、引き続き留任となります。今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会長	花島 恭一 (株式会社千葉銀行顧問) <留任>
副会長	高橋 君枝 (千葉県民生委員児童委員協議会長) <留任>
	井上 峰夫 (千葉県高齢者福祉施設協会) <留任>
	石毛 勝 (八街市社会福祉協議会長) <新任>
常務理事	尾関 範子 (千葉県社会福祉協議会常務理事) <留任>

学費等にお困りの場合はご相談ください!

「教育支援資金」は、資金を貸し付けることにより、進学や就学の継続を支援し、世帯の将来的な自立につなげることを目的としています。就学中から卒業後に就職し返済を終えるまで、継続的に相談支援する制度です。  
※一定の所得制限があります。また借受人(借入申込者)は就学する本人です。

ご相談・お申込み

- 他制度(日本学生支援機構奨学金、母子・父子・寡婦福祉資金等)が優先となります。
- 通信制高等学校のサポート校の経費については対象となりません。
- 詳細はお住まいの市町村社会福祉協議会までお問い合わせください。※千葉市は各区での対応となります。

種類	対象経費	返済期間
教育支援費	授業料、施設整備費、実験実習費、教科書・参考書等の学用品購入費、部活動費、修学旅行の積立金、通学費、一人暮らしをする場合のアパート代、入寮する場合の寮費(食費は除く)等	原則10年以内
就学支度費	入学に際して必要となる、入学金、教科書、参考書、制服、体操着、通学用自転車、アパートの契約費用等	

対象となる学校	貸付上限額	
	教育支援費	就学支度費
高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部、専修学校高等課程含む)	月額35,000円	50万円
短期大学(専門職短期大学含む)、専修学校専門課程、高等専門学校	月額60,000円	
大学(専門職大学含む)	月額65,000円	

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

ボランティア活動保険

令和7年度

商品パンフレットは  
こちらから  
(ふくしの保険ホームページ)



新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類感染症に変更されたことに伴い、「特定感染症重点プラン」を廃止して2つのプランとします。

保険金額・年間保険料(1名あたり)	
ケガの補償	賠償責任
死亡保険金	1,040万円
後遺障害保険金	1,040万円(限度額)
入院保険金日額	6,500円
手術 入院中の手術	65,000円
保険金 外来の手術	32,500円
通院保険金日額	4,000円
特定感染症	補償開始日から補償*
地震・噴火・津波による死傷	×
賠償責任保険金(対人・対物共通)	5億円(限度額)
年間保険料	350円 500円

<重要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



ボランティア行事用保険

送迎サービス補償

福祉サービス総合補償

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険) (傷害保険) (傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会  
引受幹事 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL: 03(3349)5137  
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます)  
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL: 03(3581)4667  
受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます)

令和7年度 赤い羽根共同募金運動が始まります

赤い羽根共同募金は「じぶんの町を良くするしくみ。」です

共同募金運動は今年度も10月1日から全国的に展開されます。皆さまからお寄せいただいた募金は、身近な地域の福祉課題解決のために民間の福祉施設・福祉団体、NPOやボランティア団体への支援のほか、災害支援にも役立てられます。今年度も地域福祉の推進のため、共同募金へご協力くださいますようお願いいたします。  
募金期間: 令和7年10月1日から令和8年3月31日まで

令和7年度 千葉県の募金目標

5億8,000万円

赤い羽根共同募金	3億7,000万円
市町村歳末たすけあい募金	1億8,225万円
NHK歳末たすけあい募金	2,775万円



様々な方法で地域のための募金活動にご協力いただけます

グッズ募金

千葉県共同募金会マスコットキャラクター「びわびよ」のグッズや、様々なキャラクターとのコラボグッズなどを通じてご寄付をお願いしています。



あかいはね自販機

売上の一部が寄付される「あかいはね自販機」の設置にご協力いただけるオーナー様を募集しています。ご希望に合わせてメーカーをお選びいただけます。



その他にも...

- ◆ ネットでのご寄付
- ◆ イベントでの募金活動(出展スペースの提供)
- ◆ 街頭募金のボランティア

詳しくは千葉県共同募金会のホームページをご覧ください。



みなさまからお預かりした募金は、県内の様々な福祉のために役立てられています。

みなさまからお寄せいただいた募金は、千葉県共同募金会と各市区町村社会福祉協議会によって、約7割(市町村歳末たすけあい募金は全額)が寄付をいただいた地域福祉の向上のために、約3割が千葉県全域で支援を必要とする方のために使われます。(経費を除く)



おもちゃの図書館のおもちゃ購入

船橋市に2か所ある「おもちゃの図書館」では、月に一度貸出をしております。楽しそうに選んでいる姿を拝見し、大変なことも多い子育ての中、楽しい時間になってくれたらと願いながら活動をしています。



障がい者交流事業

障害を持った方々の仲間づくりを推進し、親睦を深める目的で「スカットボール大会」を開催しました。ボールが入ると大歓声があがり終始賑やかで、大会後は昼食も楽しんでいただきました。参加者の方からは「楽しい時間を過ごせました。」と喜びの声をいただきました。

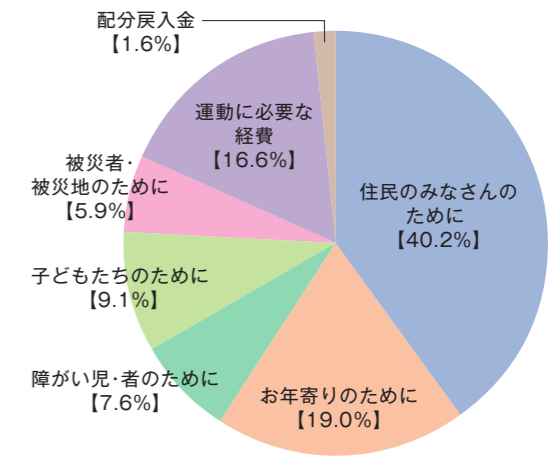
募金の詳しい使いみちは  
赤い羽根データベース「はねっと」



令和6年度 千葉県の募金額

5億5,458万8,850円

赤い羽根共同募金	3億6,044万円
市町村歳末たすけあい募金	1億7,593万円
NHK歳末たすけあい募金	1,820万円



共同募金は、時代とともに変わる「みんなのため」の募金です



共同募金運動は、第二次世界大戦後、昭和22(1947)年に「国民たすけあい運動」として戦後復興を目的に始まりました。現在では、高齢者や障がい者に対する支援のほか、子ども食堂の運営や地域の交流のための事業など、時代の移り変わりに合わせたさまざまな地域の課題解決に取り組んでいます。赤い羽根募金は、「じぶんの町を良くするしくみ」。長年、運動に携わってきたボランティアの皆さま、寄付者の皆さまに、心より感謝申し上げます。

社会福祉法人 千葉県共同募金会

〒260-0026 千葉県千葉市中央区千葉港4-5 県社会福祉センター4F  
TEL:043-245-1721 FAX:043-242-3338

https://akaihane-chiba.jp/

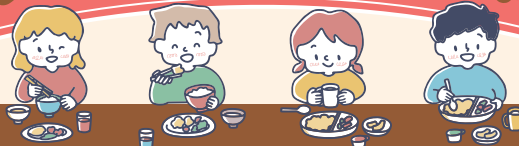
赤い羽根 ちば



千葉県共同募金会  
マスコットキャラクター  
「びわびよ」

# こども食堂、社協、社会福祉法人が連携して 寄付食材の受け入れから配布までを担う仕組み

## あったかパントリー（佐倉市）



佐倉市では、こども食堂のネットワーク、佐倉市社会福祉協議会、障害者支援の通所施設の三者が連携して、寄付された食材の受け入れ、管理、配布までを担う仕組みを作りました。三者ができることを少しずつ担いながら、支えあって活動しています。



### 仕組みづくりのために 三者がじっくり話し合い

令和元年、佐倉市内のこども食堂・地域食堂8団体が集まって「さくらあったか食堂ネットワーク」（以下、あったか食堂NW）を立ち上げました（現在は22団体）。

その事務局を担っているのは、佐倉市社会福祉協議会（以下、社協）です。当初は寄付される食材の寄付の受け入れも担当していましたが、保管場所や冷蔵・冷凍する設備もなく、またマンパワーも必要となることから課題となっていました。さらにこども食堂への関心が高まるにつれて、市民や地縁団体、企業からの寄付が増加していました。

そんななか、社会福祉法人愛光が運営する「ワークショップかぶらぎ」（以下、かぶらぎ）の職員1名が研修のために佐倉市社協に派遣されてきました。主に精神疾患がある方を対象にした就労訓練・自立訓練を行う通所施設ですが、障がいのある人が社会参加できる場を探しているところでした。

そこで食材・資材の管理と各食堂への引き渡しの仕組みづくりについて「あったか食堂NW」、佐倉市社協、「かぶらぎ」の三者で毎月1回全11回、話し合いを行いました。そして「あったかパントリー」事業の協定書が交わされ、令和5年1月からスタートする運びとなったのです。



### 社協が工賃を支払って 通所施設が管理を担う

三者の役割分担については、「かぶらぎ」が食材の受け取りと仕分け、食

材の適温管理、LINEでの連絡調整、お礼状のお渡し等を担います。野菜や缶詰などの在庫数を確認し、その情報を各食堂にLINE等で発信すると「乳飲料2パック、〇月〇日お昼ごろに取りに伺います」と各食堂から返信が届きます。大型の冷蔵庫、冷凍庫も購入したので、冷凍食品も受け入れることができました。

寄付の申し出は佐倉市社協に届くことが多いため、社協は連絡調整を担っていますが、なかには大口の寄付もあります。また社協は「かぶらぎ」に工賃を支払っていますが、その財源は、市内の篤志家の寄付による、こどもに対する支援のための基金です。



### 障害をもつ利用者の方々が 地域と交流しながら活動

「あったかパントリー」の仕組みができたことで、食材が各食堂に効率よく届くようになりました。Googleのスプレッドシートで最新の在庫管理表を共有しているので、各食堂が確認して「まだキャベツが20個も残っている。受け取りに行こう」とすぐにアクションを起こすことができ、食材のロスや削減にもつな

がっています。

また「かぶらぎ」の利用者の方々が食材の管理や引き渡しの作業に携わることによって、地域の方と交流できる機会が増えたことも大きな成果です。こども食堂に向いて見学をしたり、調理を手伝う利用者もいます。

利用者の小出津加沙（こいでつかさ）さんは「野菜の数を数えることはたいへんですが、こども食堂の方がいつもあたたかい言葉をかけてくださるので、やりがいを感じ

ます。こども食堂にお手伝いに行ったとき、自分が仕分けした野菜が使われていたのでもうれしかったです」と話します。

こども食堂の側にとっても、利用者の方を受け入れていっしょに働くことは、障害への理解につながるというメリットがあります。

「あったかパントリー」は、障害のある方も含めてみんなができることを少しずつ担うことで、みんなが支え、みんなが支えられている取り組みです。

